

新年度の展覧会予定について

1. 企画展「仙台の美と出会うー福島家三代の書画・工芸品コレクションー」

趣旨：明治から昭和にかけて仙台で活躍した実業家の福島家が、三代に渡って収集した約 3,000 点の書画・工芸品などのコレクションの中から優品を紹介する展覧会です。
伊達家旧蔵の資料をはじめ、江戸時代の仙台藩ゆかりの作品、遠藤速雄^{えんどうはやお}や熊耳耕年^{くまがみこうねん}らに代表される近代の仙台を舞台に活躍した画家の作品、そして茶道具・香道具といった工芸品など、多岐にわたるコレクションを展示します。また、このコレクションを長きにわたり保存・公開し、「街のちいさな美術館」の愛称で地域に親しまれてきた福島美術館での活動の様子もあわせて紹介します。

主催：仙台市博物館

会期：令和 2 年 4 月 24 日（金）～6 月 7 日（日）

会場：仙台市博物館（企画展示室・コレクション展示室Ⅱ）

観覧料：常設展観覧料（一般・大学生 460 円、高校生 360 円、小・中学生 110 円）

2. 支倉常長帰国 400 年記念企画展「東アジアとヨーロッパー伊達政宗が見た世界ー」

趣旨：慶長 18 年（1613）、仙台藩初代藩主である伊達政宗は、スペイン領メキシコとの直接交易と、領内への宣教師の派遣を要請するため、慶長遣欧使節をスペイン、ローマへと派遣しました。その下地には、東アジアにおける日本と海外との交流の歴史がありました。
大使の一人である支倉常長の帰国 400 年を記念して開催する本展覧会では、政宗が見た海外のすがたを、古地図や絵画、古文書、出土遺物など、多彩な資料から紹介します。また、国宝「慶長遣欧使節関係資料」を 6 年ぶりに全点公開します。

主催：仙台市博物館

会期：令和 2 年 7 月 17 日（金）～9 月 6 日（日）

会場：仙台市博物館（企画展示室・テーマ展示室Ⅱ・コレクション展示室Ⅱ）

観覧料：常設展観覧料（一般・大学生 460 円、高校生 360 円、小・中学生 110 円）

3. 企画展「仙台藩の絵画」（仮）

趣旨：仙台藩では初代藩主・伊達政宗の時代以来、様々な絵画が生まれました。政宗は仙台城や若林城の築城に際し、きらびやかな金地の障壁画で城内をしつらえました。藩主やその夫人の肖像画は、時代時代のお抱え絵師らによって描かれ、現在まで大切に保管されています。藩主も絵を得意とし、三代綱宗は大胆な構図の屏風などをこなし、五代吉村は繊細な筆致で描いた作品を多数のこしています。さらに仙台藩では、木挽町^{こびまちょう}狩野家の絵師のほか、佐久間家や菊田家など、いくつかの家が代々仙台藩の画事を担っていました。
本展では、このように仙台藩を彩った絵画の数々を紹介します。

主催：仙台市博物館

会期：令和 2 年 10 月 9 日（金）～11 月 29 日（日）

会場：仙台市博物館（特集展示室・企画展示室・コレクション展示室Ⅱ）

観覧料：常設展観覧料（一般・大学生 460 円、高校生 360 円、小・中学生 110 円）